

ALEXEY GOLDRATZCH アレクセイ・ゴルラッチ ピアノ・リサイタル

©MonikaLawrenz



浜松国際ピアノコンクール(2006年)優勝、ミュンヘン国際音楽コンクール(2011年)優勝をはじめ、世界の名だたるコンクールで優勝や上位入賞を果たしてきた、ウクライナ・キーウ生まれの注目のピアニスト、アレクセイ・ゴルラッチ。
今回の来日リサイタルは、全国で「岩舟のみ」という、きわめて貴重な公演です。

2026

7.5日

14:00開演(13:15開場)

岩舟文化会館 コスモスホール

全席指定・税込 *未就学児童入場不可 | 一般 **3,000円** 高校生以下 **500円**

3月28日(土) 発売開始

初日について

窓口・チケットぴあ 10:00~
電話予約・オンライン 13:00~
市内4文化会館(ただし、4/1~栃木文化会館は休館)

お申込み
お問合せ

岩舟文化会館 TEL **0282-55-7055** 9:00~21:30
(夜間利用がない場合は、17:30まで)

〒329-4307 栃木県栃木市岩舟町静2303 休館日/月曜日(祝日にあたる場合はその翌平日)

※オンラインでもご購入いただけます。(午前3~4時を除く終日)
詳しくは会館ウェブサイトをご覧ください。 トールツリーオンラインチケットサービス▶



プレイガイド | とちぎ岩下の新生姜ホール(栃木文化会館)・・・0282-23-5678 ※ただし、4/1~休館
大平文化会館・・・0282-43-5232 藤岡文化会館・・・0282-62-4351
チケットぴあ・・・<https://t.pia.jp/>(Pコード 323-364)
ローソンチケット(Lコード 36294)

主催: 栃木市岩舟文化会館(指定管理者 株式会社ケイミックスパブリックビジネス)
後援: 栃木市教育委員会、下野新聞社、栃木よみうり、とちぎテレビ、エフエム栃木
栃木放送、ケーブルテレビ栃木

PROGRAM

ベートーヴェン

ピアノソナタ第17番「テンペスト」Op.31-2
創作主題による6つの変奏曲 へ長調 Op. 34

ショパン

スケルツォ 第2番 変ロ短調 Op.31
夜想曲 第2番 変ホ長調 Op.9-2
ノクターン第13番 Op.48-1
24のプレリュード(前奏曲集) 前奏曲
第4番 変ニ短調 Op.28-4
第15番 変ニ長調「雨だれ」Op.28-15
ポロネーズ第6番「英雄」Op.53

※曲目は都合により変更となることがございます。



アレクセイ・ゴルラッチ (ピアノ)

ウクライナのキエフに生まれたピアニスト、ゴルラッチは、ニューヨーク・タイムズ紙より「心のこもった、品格ある、魂のこもった演奏」と称賛され、BBCミュージック・マガジンからは「洗練された、見事に様式を捉えた芸術性」と高く評価されている。

現在、ドイツのマンハイム音楽舞台芸術大学でピアノ科教授を務めて、若手音楽家の育成に情熱を注いでいる。これまでヨーロッパ、アジア、アメリカでマスタークラスを開講し、国際コンクールの審査員も多数務めてきた。ベルリン芸術大学でマーティン・ヒューズに、ハノーファー音楽大学にてカール＝ハインツ・ケマーリングおよびベルント・ゲッツケに師事。

2011年、ARDミュンヘン国際音楽コンクールでの第1位に加え、聴衆賞および複数の特別賞の受賞。その快挙に先立ち、わずか6年間で、浜松国際ピアノコンクール(2006年)、ダブリン国際ピアノコンクール(2009年)、ドイツ音楽コンクール(Deutscher Musikwettbewerb・2008年)を含む9つの国際的に著名なピアノコンクールで第1位を獲得。また、リーズ国際ピアノコンクールでは銀メダルを受賞。

これまでに、ニューヨークのカーネギーホール、ロンドンのウィグモアホール、ベルリン・コンツェルトハウス、ベルリン・フィルハーモニー大ホール、パリのサル・コルトー、ウィーン・コンツェルトハウス、ザルツブルク祝祭大劇場、サントリーホールや東京オペラシティ コンサートホール、ミュンヘン・フィルハーモニーやヘルクレスザール、フランクフルト・アルテ・オーパー、ライブツイ

ヒ・ゲヴァントハウスなど、世界各地の著名なホールで絶賛を博してきた。

また、ラ・ロック＝ダンテロン国際ピアノフェスティバル、ルツェルン音楽祭、ルール・ピアノフェスティバル、ラインガウ音楽祭、横浜国際ピアノフェスティバル、シュヴェツィンゲンSWR音楽祭、シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン音楽祭など、数多くの国際音楽祭に招かれ、ドイツ、日本、韓国、イタリア、南アフリカ、アイルランド、アメリカなどで演奏ツアー。

ソリストとしても、ハレ管弦楽団、ロイヤル・ノーザン・シンフォニア、バイエルン放送交響楽団、シュトゥットガルト放送交響楽団、NDR交響楽団およびNDRエルプフィル、フランクフルト歌劇場・博物館管弦楽団、hr交響楽団、ベルリン放送交響楽団、ドイツ放送フィル、ドレスデン・フィル、ミュンヘン放送管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団、NHK交響楽団、日本フィル、読売日本交響楽団、東京交響楽団、名古屋フィル、九州交響楽団、韓国交響楽団、ケベック交響楽団、マルメ交響楽団、ベルギー国立管弦楽団、ロイヤル・フランダース・フィルハーモニー、ベルン交響楽団、ウクライナ国立フィルなど、数々のオーケストラと共演している。

ディスコグラフィには、ソニー・クラシカル、OehmsClassics、BRクラシック、GENUIN、RAMなどによるCDのほか、ルール・ピアノフェスティバルのライブ録音およびBRクラシックレーベルによるライブ録音も含まれ、いずれも国際的な音楽専門誌で高く評価され、受賞歴もある。